

令和 7 年度

災害防除事業

市道 大草線

市道 大草線災害防除工事

仕 様 書

事業主体 広島県庄原市

施工箇所 庄原市口和町（宮内地内）

工 事 概 要							
工 事 名	市道 大草線 災害防除工事						
施 行 箇 所	広島県 庄原市口和町宮内						
工 事 概 要	費目工種	工 種	種 別 ・ 細 別	数 量		単位	摘 要
				当初	変更		
	延長	L＝		244		m	
	排水構造物工	U型側溝	PU3-B300-H300	125		m	
		L型側溝	PL2-B300-H100	119		m	
		集水桝	G1-B500-L500-H500	1		基	
			G2-B600-L600-H600	1		基	
	舗装工	表層（車道・路肩部）	仕上厚40mm 再生密粒度アスコン（13）	129		m ²	
		上層路盤 //	仕上厚70mm	112		m ²	
		上層路盤 //	仕上厚110mm	17		m ²	
		下層路盤 //	仕上厚160mm 再生クラッシャーランRC-40	129		m ²	
	構造物撤去工	モルタル殻処分	Co殻	41.0		t	
		アスファルト殻処分	アス塊	11		t	
	残土処分	運搬	砂・砂質土・礫質土	70		m ³	
		処分	//	70		m ³	
	準備工	伐採	収集運搬	120		t	
			受入費（伐採木・竹）	90		t	
			受入費（根株）	30		t	

令和 7 年度

市道 大草線災害防除工事

庄原市口和町（宮内地内）

地内

工 事 価 格

消 費 税 相 当 額

工 事 費 計

積 算 情 報

工事名	市道 大草線災害防除工事		
執行年度	令和 7 年度	諸経費区分	公共 令和06年度
工種区分	道路改良工事	変更回数	
単価適用年月日	令和 7年 7月 1日付 公共	単価地区	51:庄原市(旧総領町, 旧東城町, 旧高野町を除く)
機損適用年月日	令和 6年度 公共・林道	歩掛適用年月日	令和 6年 8月 公共

補 正 情 報

施工地域及び 工事場所による補正率	共通仮設費 …………… 一般交通影響有り(2)-2 現場管理費 …………… 一般交通影響有り(2)-2 現場環境改善費 …… 大都市・市街地以外
現場環境改善費	計上する
冬期補正	冬期補正無 (0.00 %)
緊急工事補正	緊急工事補正無
前払支出割合区分	3 5 %を超え 4 0 %以下
契約保証に係る補正	発注者が金銭的保証を必要とする場合

諸 経 費 設 定 情 報

名 称	値
【 週休2日補正 】	補正なし
【工区名称：道路改良工事01】	
[共通設定]	
施工地域	一般交通影響有り(2)-2
前払金支出割合区分	35%を超え40%以下
契約保証に係る補正	発注者が金銭的保証を必要とする場合
工事価格端数調整	千円止め
現場環境改善費計上区分	計上する
諸経費を前回金額に固定	前回金額に固定しない
[共通仮設費]	
率指定	しない
乗算補正(*n) 補正前に乗じる	0
乗算補正(*n) 補正後に乗じる	0
加算補正(+n) (%)	0
施工地域補正の加重平均まるめ	小数3位四捨五入2位止め
[現場環境改善費]	
率指定	しない
施工地域区分	大都市・市街地以外
乗算補正(*n)	0
加算補正(+n) (%)	0
[現場管理費]	
率指定	しない
施工時期、工事期間による補正	行わない
緊急工事補正	緊急工事補正無
補正率合計値の上限(%)	0
乗算補正(*n) 補正前に乗じる	0
乗算補正(*n) 補正後に乗じる	0
加算補正(+n) (%)	0
施工地域補正の加重平均まるめ	小数3位四捨五入2位止め

諸 経 費 設 定 情 報

[illegible]

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
道路改良工事01						
道路改良	1	式			Lv1	
道路土工	1	式			Lv2	処:
残土処理工	1	式			Lv3	処:
土砂等運搬	1	式			Lv4	処:
土砂等運搬 標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂 5.5km以下 DID区間無 タイヤ損耗費(良好)含む	70	m3			P 1 号	
残土等処分	1	式			Lv4	処:
建設発生土受入費 砂・砂質土・礫質土 小林建設(株)口和常定建設発生土受入地 受入地 庄原市口和町	70	m3				処:
排水構造物工 側溝工	1	式			Lv2	
作業土工	1	式			Lv3	
床掘り(掘削)	1	式			Lv4	
床掘り 土砂 小規模	160	m3			P 2 号	

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
埋戻し	1	式			Lv4	
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	80	m3			P 3 号	
排水構造物工	1	式			Lv2	
側溝工	1	式			Lv3	
側溝工	1	式			Lv4	
U型側溝工 PU3-B300-H300	125	m			単 4 号	
L型側溝工 PL2-B300-H100	119	m			単 5 号	
集水桝工 G1-B500*L500*H500	1	基			単 6 号	
集水桝工 G2-B600*L600*H600	1	基			単 7 号	
蓋版据付け 道路用3種300 41.2×9.5×50 昼間 時間制約無	149	枚			施 8 号	
蓋版据付け コンクリート鋼製 40kg/枚以下 昼間 時間制約無	15	枚			施 9 号	
舗装復旧工	1	式			Lv3	

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
舗装工	1	式			Lv4	
上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚110mm 1層施工 粒度調整砕石 M-30	17	m2			P 10 号	
上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚70mm 1層施工 粒度調整砕石 M-30	112	m2			P 11 号	
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚160mm 1層施工 再生クランチャー RC-40	129	m2			P 12 号	
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚40mm 再生密粒度アスコン(13) 平均幅員1.4m未満 プライムコート 締固密度2.35	129	m2			P 13 号	
構造物撤去工	1	式			Lv2	処:
構造物取壊し工	1	式			Lv3	
コンクリート構造物取壊し	1	式			Lv4	
構造物とりこわし 鉄筋構造物 機械施工 昼間 時間制約無 低騒音・低振動対策不要	17	m3			施 14 号	
舗装版切断	1	式			Lv4	
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	250	m			P 15 号	
舗装版破碎	1	式			Lv4	

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
舗装版破碎 アスファルト舗装版 厚15cm以下 障害等無し 積込作業有 騒音振動対策不要	110	m2			P 16 号	
運搬処理工	1	式			Lv3	処:
殻運搬	1	式			Lv4	
殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 10.9km以下 DID区間無 タイヤ損耗費(良好)含む	17	m3			P 17 号	
殻運搬 舗装版破碎 機械 騒対不要、厚15cm超又は必要 10.0km以下 DID区間無 タイヤ損耗費(良好)含む	5	m3			P 18 号	
殻処分	1	式			Lv4	処:
再資源化施設受入費 コン塊(有筋) 10t, 4t, 2t (株)三好建材 君田碎石場 三次市君田町	41	t				処:
再資源化施設受入費 アス塊 10t, 4t, 2t (株)三好建材 君田碎石場 三次市君田町	11	t				処:
仮設工	1	式			Lv2	
交通管理工	1	式			Lv3	
交通誘導警備員	1	式			Lv4	
交通誘導警備員 B	20	人日			施 19 号	

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
直接工事費計						
共通仮設費計						
共通仮設費(積上げ)	1	式				
運搬費	1	式				
仮設材等の運搬 製品長12m以内 片道運搬距離2.4km 割増なし 往復	1	式			施 30 号	
仮設材等の積込み・取卸し費 基地積込→現場→基地取卸 仮設材5.6 t	1	式			施 31 号	
伐採木集積作業機械運搬費 (2台×往復) BF0.45m3 グラップル付	1	式				
準備費	1	式				
伐採作業 (A工区) 高・中木、竹	1	式			単 32 号	
伐採木集積作業 (A工区) BF0.45m3 (グラップル付)	1	式			単 33 号	
伐採木等運搬費 (A工区) 掴み装置付き10 t 見積り 庄原市口和町常定 L=5.2 k m (柵備北グリーン)	120	t				
伐採木・根・竹等処分費 (A工区) 枝葉 見積り (柵備北グリーン)	90	t				

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
伐採木・根・竹等処分費 (A工区) 根株 見積り (柵備北グリーン)	30	t				
共通仮設費 (率化)	1	式				
共通仮設費率分	1	式				一般交通影響有り (2)-2
現場環境改善費率分	1	式				大都市・市街地以外
純工事費	1	式				
現場管理費	1	式				一般交通影響有り (2)-2
工事原価	1	式				
一般管理費等	1	式				金銭的保証を必要とする
工事価格	1	式				
消費税等相当額	1	式				
合計						

令和7年度 市道 大草線 災害防除工事 実施設計書 (A+B)

【 第 1 号 施工パッケージ 】							
土砂等運搬 標準 ハックホ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂 (5.5km以下 DID区間無 ,タイヤ損耗費(良好)含む)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			45.59				
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級			45.59				
【労務】			39.52				
運転手 (一般)			39.52				
【材料】			14.89				
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			14.89				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 土砂等発生現場 標準			[J2] = 1	積込機種・規格 ハックホ山積0.8m3(平積0.6m3)			
[J3] = 1 土質 土砂(岩塊・玉石混り土含む)			[J4] = 1	DID区間の有無 DID区間無			
[J5] = 8 運搬距離 5.5km以下							

【 第 2 号 施工パッケージ 】								1 m3 当り
床掘り 土砂 小規模								
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準	
【機械】			19.87					
バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・排対:2次] 標準バケット 山積0.28m3 [平積0.2m3]			19.87					
【労務】			72.99					
運転手 (特殊)			39.96					
普通作業員			33.03					
【材料】			7.14					
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			7.14					
【端数調整】								
[条件] [J1] = 1 土質 土砂 [J5] = 1 費用の内訳 全ての費用			[J2] = 5	施工方法 上記以外(小規模)				

【 第 3 号 施工パッケージ 】 埋戻し 最大埋戻幅1m未満								1	m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】			9.57						
バックホウ(クロー) [後方超小旋回・超低・排2014年] 標準バケット 山積0.45m3 [平積0.35m3]			8.96						
〈賃〉タンパ(ランマ) 質量60～80kg			0.61						
【労務】			86.79						
普通作業員			53.01						
特殊作業員			25.36						
運転手 (特殊)			8.42						
【材料】			3.64						
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			2.80						
ガソリン, レギュラー スタンド渡し, スタンド給油			0.84						
【端数調整】									
[条件] [J1] = 4 施工方法 最大埋戻幅1m未満			[J4] = 1	費用の内訳 全ての費用					

【 第 4 号 単価表 】						
U型側溝工 PU3-B300-H300					10 m 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
U型側溝据付け 道路用1種 300B 300×400×2000 昼間 時間制約無 基礎碎石施工無	10	m			施 20 号	
コンクリート バックホウ(クレーン機能付)打設 無筋・鉄筋構造物 18-8-40高炉60%C230 一般養生	0.56	m3			P 21 号	
計						
単位当たり						

【 第 5 号 単価表 】						
L型側溝工 PL2-B300-H100				10 m 当り		
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
プレキャストL形側溝(製品長0.6m/個)据付 300(500×155×600) 基礎砕石無し	10	m			P 22 号	
コンクリートパッド(クレーン機能付)打設 無筋・鉄筋構造物 18-8-40高炉60% 一般養生	0.6	m3			P 23 号	
モルタル練 高炉	0.1	m3			P 24 号	
計						
単位当たり						

【 第 6 号 単価表 】						
集水桝工 G1-B500*L500*H500						1 基 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリート 人力打設 小型構造物 18-8-40高炉60% 養生無し	0.281	m3			P 25 号	
型枠 一般型枠 小型構造物	3.416	m2			P 26 号	
基礎砕石 12.5cmを超え17.5cm以下 再生クラッシュラン40～0	0.81	m2			P 27 号	
蓋版据付け コンクリート鋼製 40kg/枚以下 昼間 時間制約無	1	枚			施 28 号	
計						
単位当たり						

【 第 7 号 単価表 】						
集水桝工 G2-B600*L600*H600						1 基 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリート 人力打設 小型構造物 18-8-40高炉60% 養生無し	0.392	m3			P 25 号	
型枠 一般型枠 小型構造物	4.5	m2			P 26 号	
基礎砕石 12.5cmを超え17.5cm以下 再生クラッシュラン40～0	1	m2			P 27 号	
蓋版据付け コンクリート鋼製 40超170kg/枚以下 昼間 時間制約無	1	枚			施 29 号	
計						
単位当たり						

【 第 8 号 施工単価表 】						
蓋版据付け 道路用3種300 41.2×9.5×50 (昼間 時間制約無 ,)						1 枚 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_蓋版【手間のみ】 コンクリート・鋼製_40を超え170kg/枚以下 据付け 排水構造物工	1	枚				
落ちふた式U形側溝(JISA5372)3種ふた300 412*95*500 参考質量45kg	1	枚				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 作業区分 据付け			[B] = 20 蓋版の種類 道路用3種300 41.2×9.5×50			
[C] = 2 規格・仕様 コンクリート鋼製 40超170kg/枚以下			[D] = 3 時間制約の有無 時間制約無			
[E] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			[F] = 1 施工箇所における補正 施工箇所補正無			

【 第 9 号 施工単価表 】						
蓋版据付け コンクリート鋼製 40kg/枚以下 (昼間 時間制約無 ,)						1 枚 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_蓋版【手間のみ】 コンクリート・鋼製_40kg/枚以下 据付け 排水構造物工	1	枚				
U型側溝用グレーチング 嵩上げタイプ T-14 幅300用	1	枚				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 作業区分 据付け			[B] = 56 蓋版の種類 各種			
[C] = 1 規格・仕様 コンクリート鋼製 40kg/枚以下			[D] = 3 時間的制約の有無 時間制約無			
[E] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			[F] = 1 施工箇所における補正 施工箇所補正無			

【 第 10 号 施工パッケージ 】							
上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚110mm 1層施工 (粒度調整砕石 M-30 ,)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			9.88				
モータグレーダ〔土工用・排対型2次基準〕 プレート幅3.1m			3.96				
ロータリー〔マカダム・排対型:2次基準〕 運転質量10t 締固め幅2.1m			3.13				
〈貸〉タイヤローラ 質量8～20t 排対型1,2次基準 低騒音			1.01				
その他(機械)							
【労務】			33.13				
運転手(特殊)			15.46				
特殊作業員			5.15				
普通作業員			5.03				
土木一般世話役			1.52				
その他(労務)							
【材料】			56.99				

【 第 10 号 施工パッケージ 】 (続 き)							
上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚110mm 1層施工							
(粒度調整砕石 M-30 ,)							
1	m2 当り						
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
粒度調整砕石 30～0mm			53.57				
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			2.81				
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 10 材料 粒度調整砕石 M-30			[J4] = 110.000 mm	全仕上り厚			
[J5] = 1 施工区分 1層施工			[J7] = 1	費用の内訳 全ての費用			

【 第 11 号 施工パッケージ 】							
上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚70mm 1層施工 (粒度調整砕石 M-30 ,)							
1	m2 当り						
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			9.88				
モータグレーダ〔土工用・排対型2次基準〕 プレート幅3.1m			3.96				
ロータリー〔マカダム・排対型:2次基準〕 運転質量10t 締固め幅2.1m			3.13				
〈賃〉タイヤローラ 質量8～20t 排対型1,2次基準 低騒音			1.01				
その他(機械)							
【労務】			33.13				
運転手(特殊)			15.46				
特殊作業員			5.15				
普通作業員			5.03				
土木一般世話役			1.52				
その他(労務)							
【材料】			56.99				

【 第 11 号 施工パッケージ 】 (続 き)							
上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚70mm 1層施工							
(粒度調整砕石 M-30 ,)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
粒度調整砕石 30～0mm			53.57				
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			2.81				
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 10 材料 粒度調整砕石 M-30			[J4] = 70.000 mm 全仕上り厚				
[J5] = 1 施工区分 1層施工			[J7] = 1 費用の内訳 全ての費用				

【 第 12 号 施工パッケージ 】							
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚160mm 1層施工 (再生クラッシャー RC-40 ,)							
1	m2 当り						
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】							
			4.67				
モータグレーダ〔土工用・排対型2次基準〕 プレート幅3.1m			1.87				
ロータリー〔マカダム・排対型:2次基準〕 運転質量10t 締固め幅2.1m			1.48				
〈賃〉タイヤローラ 質量8～20t 排対型1,2次基準 低騒音			0.48				
その他(機械)							
【労務】							
			15.69				
運転手(特殊)							
			7.32				
特殊作業員							
			2.44				
普通作業員							
			2.38				
土木一般世話役							
			0.72				
その他(労務)							
【材料】							
			79.64				

【 第 12 号 施工パッケージ 】 (続 き)							
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚160mm 1層施工							
(再生クラッシャー RC-40 ,)							
1 m2 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
再生クラッシャー 40～0mm			78.02				
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			1.33				
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 160.000 mm 全仕上り厚			[J2] = 1	施工区分 1層施工			
[J3] = 6 材料 再生クラッシャー RC-40			[J4] = 1	費用の内訳 全ての費用			

【 第 13 号 施工パッケージ 】							
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚40mm 再生密粒度アスコン(13)							
(平均幅員1.4m未満 , プライムコート 締固密度2.35)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			0.43				
振動ローラ(舗装用) [ハートカイト式] 運転質量0.5～0.6t			0.24				
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40～60kg			0.13				
その他(機械)							
【労務】			42.30				
特殊作業員			18.71				
普通作業員			13.40				
土木一般世話役			4.05				
その他(労務)							
【材料】			57.27				
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)			52.51				
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用			4.54				

【 第 13 号 施工パッケージ 】 (続 き)							
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚40mm 再生密粒度アスコン(13)							
(平均幅員1.4m未満 ,プライムコート 締固密度2.35)							
1 m2 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
ガソリン, レギュラー スタンド渡し, スタンド給油			0.16				
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油			0.03				
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J2] = 40.000 mm 1層当り平均仕上り厚			[J1] = 1	平均幅員 1.4m未満 平均仕上厚50mm以下			
[A1] = 11 材料 再生密粒度アスコン(13)			[J4] = 3	瀝青材料種類 プライムコート PK-3			
[J6] = 1 費用の内訳 全ての費用			[A2] = 1	アスファルト混合物小型車割増 小型車割増なし			
[A3] = 1 アスファルト混合物夜間割増 夜間割増なし							

【 第 14 号 施工単価表 】						
構造物とりこわし 鉄筋構造物 機械施工						
(昼間 時間制約無 , 低騒音・低振動対策不要)						
1	m3	当り				
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_鉄筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし 構造物とりこわし工	1	m3				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 2 構造物区分 鉄筋構造物			[B] = 1 工法区分 機械施工			
[C] = 3 時間的制約の有無 時間制約無			[D] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			
[E] = 2 低騒音・低振動対策 低騒音・低振動対策不要						

【 第 15 号 施工パッケージ 】 舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下 1 m 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			15.42				
コンクリートカッタ[ハキューム式(超低騒音型)・湿式] 切削深20cm級 ブレード径 φ 56cm			10.49				
その他(機械)							
【労務】			57.13				
特殊作業員			19.60				
土木一般世話役			10.55				
普通作業員			8.73				
その他(労務)							
【材料】			27.45				
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)			23.29				
ガソリン, レギュラー スタンド渡し, スタンド給油			2.83				
その他(材料)							

【 第 15 号 施工パッケージ 】 (続 き)							
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下 1 m 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 1 舗装版種別 アスファルト舗装版			[J2] = 1	アスファルト舗装版厚 15cm以下			
[J5] = 1 費用の内訳 全ての費用							

【 第 16 号 施工パッケージ 】							
舗装版破砕 アスファルト舗装版 厚15cm以下 (障害等無し 積込作業有 ,騒音振動対策不要)				1 m2 当り			
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			13.49				
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35) 排対型1,2,3次 低騒音			13.49				
【労務】			80.49				
土木一般世話役			28.91				
運転手 (特殊)			27.69				
普通作業員			23.89				
【材料】			6.02				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			6.02				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 舗装版種別 アスファルト舗装版			[J2] = 1	障害等の有無 無し			
[J3] = 1 騒音振動対策 不要			[J4] = 4	舗装版厚 15cm以下			
[J6] = 1 積込作業の有無 有り			[J7] = 1	費用の内訳 全ての費用			

【 第 17 号 施工パッケージ 】 殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 (10.9km以下 DID区間無 , タイヤ損耗費(良好)含む)								1	m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】			41.69						
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級			41.69						
【労務】			43.88						
運転手 (一般)			43.88						
【材料】			14.43						
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			14.43						
【端数調整】									
[条件] [J1] = 2 殻発生作業 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし			[J2] = 1	積込工法区分 機械積込					
[J3] = 1 DID区間の有無 DID区間無 [JJ] = 1 費用の内訳 全ての費用			[JE] = 5	運搬距離 10.9km以下					

【 第 18 号 施工パッケージ 】								1	m3 当り
殻運搬 舗装版破碎 機械 騒対不要、厚15cm超又は必要 (10.0km以下 DID区間無 ,タイヤ損耗費(良好)含む)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【機械】			44.95						
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級			44.95						
【労務】			38.97						
運転手 (一般)			38.97						
【材料】			16.08						
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			16.08						
【端数調整】									
[条件] [J1] = 3 殻発生作業 舗装版破碎			[J2] = 2	積込工法区分 機械 騒対不要、厚15cm超又は必要					
[J3] = 1 DID区間の有無 DID区間無			[J8] = 9	運搬距離 10.0km以下					
[JJ] = 1 費用の内訳 全ての費用									

【 第 19 号 施工単価表 】						
交通誘導警備員 B 1 人 日 当 り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
交通誘導警備員B		人				
計						
単位当たり						
[条件] [B] = 2 交通誘導警備員区分 交通誘導警備員B						

【 第 20 号 施工単価表 】						
U型側溝据付け 道路用1種 300B 300×400×2000						
(昼間 時間制約無 , 基礎碎石施工無)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_U型側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 据付け 排水構造物工	10	m				
落ちふた式U形側溝(JISA5372)1種300B 300*400*2,000 参考質量420kg	5	本				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 作業区分 据付け		[B] = 1 L=1,000mm, 4,000mmの使用の有無	無し			
[C] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無		[D] = 13 U型側溝種類 道路用1種 300B 300×400×2000				
[E] = 3 規格・仕様区分 L=2000mm 1000kg/個以下		[F] = 3 時間制約の有無 時間制約無				
[G] = 1 施工箇所における補正 施工箇所補正無		[H] = 2 基礎碎石施工の有無 基礎碎石施工無				
[I] = 7 基礎碎石の種類 碎石計上無		[J] = 0.000 m3 基礎碎石設計数量				

【 第 21 号 施工パッケージ 】							
コンクリート バックホウ(クレーン機能付)打設 無筋・鉄筋構造物 (18-8-40高炉60%C230 , 一般養生)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			3.79				
〈賃〉バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3, 2011, 2014			3.58				
その他(機械)							
【労務】			35.68				
特殊作業員			10.28				
普通作業員			9.55				
土木一般世話役			7.10				
運転手(特殊)			6.64				
その他(労務)							
【材料】			60.53				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%),セメント量230kg, 高炉			58.70				
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			1.73				

【 第 21 号 施工パッケージ 】				(続 き)				1 m3 当り			
コンクリート バックホウ(クレーン機能付)打設 無筋・鉄筋構造物											
(18-8-40高炉60%C230 , 一般養生)											
名 称 ・ 規 格		金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準			
その他(材料)											
【端数調整】											
[条件]											
[J1] = 1 構造物種別 無筋・鉄筋構造物				[J9] = 2	打設工法 バックホウ(クレーン機能付)打設						
[N1] = 33 コンクリート規格 18-8-40(高炉)W/C60% セメント230kg				[J5] = 2	養生工の種類 一般養生						
[JB] = 1 費用の内訳 全ての費用				[N3] = 1	生コン小型車割増 小型車割増なし						

【 第 22 号 施工パッケージ 】 フレキストL形側溝(製品長0.6m/個)据付 300(500×155×600) (基礎砕石無し ,) 1 m 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			5.06				
バックホウ(クローラ) [標準・クレーン機能付・排対型:1次] 標準バケット 山0.45m3[平0.35m3]2.9t吊			4.52				
その他(機械)							
【労務】			58.80				
普通作業員			29.61				
土木一般世話役			11.92				
運転手 (特殊)			7.31				
特殊作業員			3.67				
その他(労務)							
【材料】			36.14				
鉄筋コンクリートL形(JISA5372)300 500×155×600 参考質量65kg			34.02				
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			1.90				

令和7年度 市道 大草線 災害防除工事 実施設計書 (A+B)

【 第 22 号 施工パッケージ 】 (続 き)

プレキャストL形側溝(製品長0.6m/個)据付 300(500×155×600)

1 m 当り

(基礎碎石無し,)

[illegible]

【 第 23 号 施工パッケージ 】							
コンクリート バックホウ(クレーン機能付)打設 無筋・鉄筋構造物 (18-8-40高炉60% , 一般養生)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			3.79				
〈賃〉バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3, 2011, 2014			3.58				
その他(機械)							
【労務】			35.68				
特殊作業員			10.28				
普通作業員			9.55				
土木一般世話役			7.10				
運転手(特殊)			6.64				
その他(労務)							
【材料】			60.53				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%), 高炉			58.70				
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			1.73				

【 第 23 号 施工パッケージ 】				(続 き)		1 m3 当り	
コンクリート バックホウ(クレーン機能付)打設 無筋・鉄筋構造物							
(18-8-40高炉60% , 一般養生)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 1 構造物種別 無筋・鉄筋構造物			[J9] = 2	打設工法 バックホウ(クレーン機能付)打設			
[N1] = 32 コンクリート規格 18-8-40(高炉)W/C60%			[J5] = 2	養生工の種類 一般養生			
[JB] = 1 費用の内訳 全ての費用			[N3] = 1	生コン小型車割増 小型車割増なし			

【 第 24 号 施工パッケージ 】								1	m3 当り
モルタル練 高炉									
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【労務】			83.30						
普通作業員			55.43						
土木一般世話役			27.71						
その他(労務)									
【材料】			16.70						
セメント(袋)			11.28						
高炉B種 25kg/袋									
コンクリート用砂			5.42						
細目(洗い)									
【端数調整】									
[条件]									
[J1] = 2 セメント種類 高炉			[J3] = 1	費用の内訳 全ての費用					
[y1] = 1 砂規格 砂細目(洗い)									

【 第 25 号 施工パッケージ 】							
コンクリート 人力打設 小型構造物							
(18-8-40高炉60% ,養生無し)							
1 m3 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【労務】			38.38				
普通作業員			20.27				
特殊作業員			8.38				
土木一般世話役			8.26				
その他 (労務)							
【材料】			61.62				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%), 高炉			61.62				
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 2 構造物種別 小型構造物			[J9] = 3 打設工法 人力打設				
[N1] = 32 コンクリート規格 18-8-40(高炉)W/C60%			[J5] = 1 養生工の種類 養生無し				
[J7] = 2 現場内小運搬の有無 無し			[JB] = 1 費用の内訳 全ての費用				
[N3] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし							

【 第 26 号 施工パッケージ 】 型枠 一般型枠 小型構造物								1	m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準		
【労務】			100.00						
型わく工			43.77						
普通作業員			31.27						
土木一般世話役			11.92						
その他 (労務)									
【端数調整】									
[条件] [J1] = 1 型枠の種類 一般型枠			[J2] = 2	構造物の種類 小型構造物					

【 第 27 号 施工パッケージ 】							
基礎碎石 12.5cmを超え17.5cm以下 (再生クラッシャー40～0 ,)							1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			5.27				
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3, 2011, 2014			5.24				
その他(機械)							
【労務】			73.08				
普通作業員			35.03				
特殊作業員			14.83				
運転手(特殊)			13.97				
土木一般世話役			8.75				
その他(労務)							
【材料】			21.65				
再生クラッシャー 40～0mm			16.89				
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			4.73				

【 第 27 号 施工パッケージ 】 (続 き)							
基礎碎石 12.5cmを超え17.5cm以下							
(再生クラッシュラン40～0 ,)							
1 m2 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 3 碎石の厚さ 12.5cmを超え17.5cm以下			[J2] = 8 碎石の種類 再生クラッシュラン40～0				
[J3] = 1 費用の内訳 全ての費用							

【 第 28 号 施工単価表 】						
蓋版据付け コンクリート鋼製 40kg/枚以下 (昼間 時間制約無 ,)						1 枚 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_蓋版【手間のみ】 コンクリート・鋼製_40kg/枚以下 据付け 排水構造物工	1	枚				
蓋版グレーチング T-14 500×500	1	枚				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 作業区分 据付け			[B] = 56 蓋版の種類 各種			
[C] = 1 規格・仕様 コンクリート鋼製 40kg/枚以下			[D] = 3 時間的制約の有無 時間制約無			
[E] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			[F] = 1 施工箇所における補正 施工箇所補正無			

【 第 29 号 施工単価表 】						
蓋版据付け コンクリート鋼製 40超170kg/枚以下						
(昼間 時間制約無 ,)						
1 枚 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_蓋版【手間のみ】 コンクリート・鋼製_40を超え170kg/枚以下 据付け 排水構造物工	1	枚				
蓋版グレーチング T-14 600×600	1	枚				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 作業区分 据付け			[B] = 56 蓋版の種類 各種			
[C] = 2 規格・仕様 コンクリート鋼製 40超170kg/枚以下			[D] = 3 時間的制約の有無 時間制約無			
[E] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			[F] = 1 施工箇所における補正 施工箇所補正無			

【 第 30 号 施工単価表 】						
仮設材等の運搬 製品長12m以内 片道運搬距離2.4km						
(割増なし 往復 ,)						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
トラック運賃	5.6	t				
往復						
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 1 製品長 12m以内		[B] = 2.400 km		片道運搬距離		
[C] = 1 運賃割増区分 割増なし		[D] = 0.000		運賃割増率		
[y1] = 2 運搬区分 往復		[y4] = 2 その他の諸料金 計上しない				
[y5] = 2 有料道路利用料 計上しない		[y3] = 5.600 t		仮設材質量		

【 第 31 号 施工単価表 】						
仮設材等の積込み・取卸し費 基地積込→現場→基地取卸						
(仮設材5.6 t ,)						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
仮設材等の積込・取卸費 基地積込～現場～基地取卸	5.6	t				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 5 施工区分 基地積込→現場→基地取卸		[B] = 5.600 t	仮設材質量			

【 第 32 号 単価表 】

伐採作業（A工区） 高・中木、竹

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
特殊作業員		人				
樹木伐採 高所作業車 トラック架装・バスケット型・H=17m		日				
計						
単位当たり						

【 第 33 号 単価表 】 伐採木集積作業 (A工区) BF0.45m3 (グラップル付) 1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人				
特殊作業員		人				
樹木伐採木集積作業機械 (BF0.45m3 2台) BF0.45m3 グラップル付		日				
計						
単位当たり						

特記仕様書

第 1 章 総 則

第 1 節 適 用

- 1 本特記仕様書は、**市道大草線災害防除工事** に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書（令和 6 年 8 月 広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）
 - ※ 土木工事共通仕様書は、「広島県の調達情報」に掲載されている。 <https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
 - ・その他関連規格類

第 2 節 適用除外

- 本工事では、土木工事共通仕様書（令和 6 年 8 月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）における下記の項目については適用しない。
- ・ 1-1-1-27, 1-1-2-20 週休二日の対応
 - ・ 1-1-2-14 施工管理 1. 標示板の設置
 - ・ 1-1-3-7 契約後 V E 工事
 - ・ 1-1-3-9 県産木材の活用
 - ・ 3-1-1-7 工事完成図書の納品 6. 地質調査の電子成果品等

第 3 節 用語等の読みかえ

土木工事共通仕様書（令和 6 年 8 月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）に規定されている用語等については次のとおり読みかえる。

土木工事共通仕様書に規定されている用語等			特記仕様書第 1 章総則で読みかえる用語等
1-1-1-2 用語の定義	6. 設計図書	工事数量総括表	本工事費内訳書
1-1-2-1 適用	2. 共通仕様書の適用	土木工事監督規程	庄原市建設工事監督規程
1-1-2-1 適用	2. 共通仕様書の適用	土木工事検査規程	庄原市建設工事検査規程
1-1-2-2 用語の定義	1. 監督職員	建設工事執行規則（平成8年6月11日規則第39号）	庄原市建設工事執行規則（平成17年3月31日規則第135号）
1-1-2-2 用語の定義	2. 総括監督員	広島県契約規則（昭和39年4月1日規則第32号）	庄原市契約規則（平成17年3月31日規則第47号）
1-1-2-2 用語の定義	4. 技術検査	土木工事検査技術基準	庄原市建設工事検査基準
1-1-2-2 用語の定義	5. 検査職員	建設工事執行規則（平成8年6月11日規則第39号）	庄原市建設工事執行規則（平成17年3月31日規則第135号）
1-1-2-5 工事の下請負	1. 下請負者の資格	広島県の建設工事入札参加資格	庄原市の建設工事入札参加資格
1-1-2-5 工事の下請負	2. 指名除外	広島県の「建設業者等指名除外要綱」の指名停止	庄原市建設業者指名除外基準要綱の指名除外
1-1-2-5 工事の下請負	5. 下請け	広島県内	庄原市内
1-1-2-5 工事の下請負	6. 県外業者を下請業者とする場合の理由書	県外	市外

第 4 節

現場代理人の兼務

- 1 受注者は、請負代金額が 4,500万円（建築一式工事にあつては、9,000万円）未満に該当することにより現場代理人の工事現場への常駐を要しないこととされた場合であつて、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について、他の公共工事の現場における現場代理人又は技術者等との兼務を申請することができる。

ただし、令和 7 年 4 月 3 日付「災害復旧工事における特例措置」の期間にあつては、兼務制限の件数から災害復旧工事を除くこととする。

 - （1） 兼務する工事が公共工事であり、庄原市内の工事であること
 - （2） 兼務する工事件数が本件工事を含め 3 件（災害復旧工事に係る件数を除く）以内であること
 - （3） 兼務する工事が同一の発注者によるものでない場合は、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しを提出できること
 - （4） 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること
- 2 受注者は、前項に掲げるほか、密接に関係のある他の公共工事（建設業法施行令（昭和31年政令第273号）第27条第 2 項が適用される工事として、同一の専任の主任技術者による工事の管理が認められたものに限る。）において現場代理人又は主任技術者として配置されている期間であつて、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について、他の公共工事の現場における現場代理人又は技術者等との兼務を発注者に申請することができる。
 - （1） 同一の主任技術者による管理が認められた公共工事であること
 - （2） 兼務する工事件数が本件工事を含め 2 件以内であること
 - （3） 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、兼務の承認を取消すものとする。
 - （1） 兼務に関する事項で、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - （2） 著しい状況の変化により、兼務をすることが適当でなくなったとき
 - （3） その他、発注者の判断で兼務をすることが適当でなくなったとき
- 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行なうことがある。

第 5 節

現場代理人及び主任技術者又は監理技術者

- 1 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者の配置要件の取り扱いについては、土木工事共通仕様書 1-1-3-3 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「5. 配置要件」によらず、次のとおり取り扱う。
 - 一般土木工事（建築一式工事以外）の契約約款第10条第1項第2号の規定により配置する主任技術者又は監理技術者は次によるものとする。
 - （1） 下請契約金額の総額が 5,000万円以上、又は設計図書等において特に定めた場合は、監理技術者を配置する。
 - （2） 請負代金額 4,500万円以上の場合、又は設計図書等において特に定めた場合は、一般建設業・特定建設業を問わず全業者について技術者を専任配置する。
 - （3） 請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満、又は設計図書等において特に定めた場合は、一般建設業・特定建設業を問わず全業者について配置する技術者が、兼務する工事件数（請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満）は、この工事を含めて3件までとする。
 - （4） 請負金額が 4,500万円以上 1億円未満の工事で建設業法施行令第27条第2項が適用される工事にあつては、主任技術者が兼務できる工事件数は、この工事を含めて2件以内とする。
- 2 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者の誓約書の取り扱いについては、土木工事共通仕様書 1-1-3-3 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「6. 誓約書」によらず、次のとおり取り扱う。
 - 「現場代理人及び主任技術者等指名（変更）届」には、次の各号に定める誓約書を添付しなければならない。
 - （1） 請負代金額が 4,500万円以上、又は設計図書等において特に定めた場合
配置する主任技術者又は監理技術者について、他の工事の主任技術者又は監理技術者として配置していない旨の誓約書。
 - （2） 請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満、又は設計図書等において特に定めた場合
配置する主任技術者又は監理技術者について、次の〔1〕又は〔2〕に掲げる主任技術者又は監理技術者若しくは現場代理人として現在3件（本件工事は含まない。）以上の工事に配置していない旨の誓約書。
 - 〔1〕 500万円以上 4,500万円未満（建築一式工事については、1,500万円以上 9,000万円未満）の建設工事の主任技術者又は監理技術者
 - 〔2〕 災害復旧工事以外の工事の現場代理人

第 6 節

中間検査

本工事は、中間検査の対象工事とし、実施については次のとおり取り扱う。

- 1 中間検査の実施は、工事の主要工程を考慮し、施工上の重要な変化点等で行うものとし、時期選定は、監督職員が行う。
- 2 原則として、請負代金額が 1,000万円以上 1億円未満の工事は、中間検査を1回実施し、1億円以上の工事は2回実施する。ただし、災害復旧工事等については、請負代金額が 5,000万円以上 1億円未満の工事について、中間検査を1回実施し、1億円以上の工事は、2回実施する。

第 7 節

情報共有システム

本工事は、受注者からの申し出により監督員が承諾した場合に限り、情報共有システムを利用することができる。なお、利用することとなった場合には土木工事共通仕様書 1-1-1-25 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

第 8 節

工事現場の現場環境改善費

本工事は、現場環境改善及び地域連携に資する経費に関して、設計計上を行っており、実施については土木工事共通仕様書1-1-3-10工事現場の環境改善等に従うこと。

第 9 節 工事関係書類の事前協議

受注者は、「土木工事書類作成マニュアル（案）令和2年11月 広島県」に記載のある「2 工事関係書類一覧」に基づき、工事着手前に、工事書類の電子又は紙による提出又は提示方法を監督員と事前協議し決定する。ただし、出来形管理図表・品質管理表・工事写真の提出又は提示方法については、紙に変更できるものとする。

第 10 節 遠隔地からの労働者を確保する場合の積算方法

1 「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の次に示す費用（以下「実績変更対象費」という。）について、工事実施に当たって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、積算基準書等の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更を行う。

営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上げ費（宿泊費、借上げ費については労働者確保に係るものに限る。）

労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用

- 2 受注者は、遠隔地から労働者を確保する場合、実績変更対象費の割合を参考にし、工事着手までに実施計画書を作成し、監督職員に提出する。
- 3 最終精算変更時点において、実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更が必要な場合は、実績報告書及び実績変更対象費について実際に支払った全ての証明書類（領収書、領収書の出ないものは金額の妥当性を証明する書類等。）を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- 4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。
- 5 実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、積算基準書等に基づき算出した額における実績変更対象費を差し引いた額を加算して算出する。
なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。
- 6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名除外等の措置を行う場合がある。
- 7 疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- 8 本工事における実績変更対象費の割合は次のとおりである。
 - （1） 共通仮設費（率分）に占める実績変更対象費（労働者送迎費、宿泊費、借上げ費）の割合： 12.82%
 - （2） 現場管理費に占める実績変更対象費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合： 1.59%

第 11 節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - （1）工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 - （2）上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 - （3）上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第 12 節

建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
 - ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
 - イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- （1）建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- （2）建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- （3）建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- （4）建設発生土の搬出量
- （5）建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- （1）国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- （2）受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- （3）ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード
- （4）9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第 2 章 施工条件

第 1 節 建設副産物

1 建設発生土〔搬出〕（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積））（指定処分（A））

当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所 **小林建設㈱ 口和常定建設発生土受入地 庄原市口和町常定字川平5045-1**

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

第 3 章 その他

- 1 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。
- 2 事前に関係河川漁協と協議を行い、同意等の承諾を得ること。
- 3 本工事における濁水の影響が想定される場合は、監督職員と協議すること。

令和 7 年度

市道 大草線 災害防除工事

A 工区

伐採・流末水路工

B 工区

側溝整備

実施設計

数量計算書

設計数量総括表

R7年度実施

設計書名：市道大草線災害防除工事 A工区+B工区

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	A工区	B工区	合 計	設計計上
道路改良								
	土工							
		作業土工						
		床掘	土砂	m3	10.6	154.2	164.8	160
		埋戻	土砂	m3	4.2	76.3	80.5	80
		土砂等運搬	土砂	m3	5.9	67.2	73.1	70
		残土等処分	土砂	m3	5.9	67.2	73.1	70
	排水構造物工							
		排水路工						
		流末水路工	PU3-B300-H300	m	21.0		21.0	21
		L型側溝	PL2-B300-H100	m		119.1	119.1	119
		U型側溝	PU3-B300-H300	m		104.0	104.0	104
		U型側溝用床版蓋	コンクリート製 3種 L=0.6m	枚		149.0	149.0	149
		U型側溝用グレーチング	嵩上げタイプ T-14 幅300用 L=1.0m	枚		15.0	15.0	15
		集水樹工	500*500*h500	箇所	1.0		1.0	1
			600*600*h600	箇所		1.0	1.0	1
	構造物撤去工							
		構造物取壊し工						
		舗装版切断	A s 舗装版 t=4cm	m	22.6	224.8	247.4	250
		舗装版破砕	A s 舗装版 t=4cm	m2	16.8	95.8	112.6	110
		コンクリート取壊し	鉄筋コンクリート	m3	0.8	15.7	16.5	17

設計数量総括表								
設計書名：市道大草線災害防除工事　A工区+B工区								
工　種	種　別	細　別	規　格	単位	A工区	B工区	合　計	設計計上
		殻運搬	A s 殻	m3	0.7	3.8	4.5	5
		〃	C o（鉄筋）殻	m3	0.8	15.7	16.5	17
		殻処分	A s 殻	t	1.6	8.9	10.5	11
		〃	C o（鉄筋）殻	t	2.0	39.3	41.3	41
	舗装工							
		アスファルト舗装工						
		下層路盤工	RC-40　t=16cm	m2	16.8	112.0	128.8	129
		上層路盤工（A工区）	M-30　t=11cm	m2	16.8		16.8	17
		上層路盤工（B工区）	M-30　t=7cm	m2		112.0	112.0	112
		表層工	再生密粒As13mm　t=4cm	m2	16.8	112.0	128.8	129
	交通管理工							
		交通誘導警備員		人	20.0		20.0	20
	準備費							
	(A工区)	樹木伐採 中・高木	伐採	式	1.0		1.0	1
		伐採木集積 中・高木	集積・積込み BF0.45m3×2台（グラブ付）	式	1.0		1.0	1
		運搬 木・枝葉等	L＝5.2k m 箱型10 tトラック（掴み装置付）	t	120.0		120.0	120
		処分費 木・枝葉等		t	90.0		90.0	90
		処分費 竹・根株		t	30.0		30.0	30

一般計算書

種 別：作業土工

細別／規格	算 式 ／ 図	数 量
A工区 作業土工 床掘（土砂）	$V=10.6$	10.6 m ³
作業土工 埋戻（土砂）	$V=4.2$	4.2 m ³
残土運搬・処分 土砂	$10.6 - (4.2/0.9) = 5.9$ $V=5.9$	5.9 m ³
B工区 作業土工 床掘（土砂）	$V=154.2$	154.2 m ³
作業土工 埋戻（土砂）	$V=78.3$	78.3 m ³
残土運搬・処分 土砂	$154.2 - (78.3/0.9) = 67.2$ $V=67.2$	67.2 m ³

第 表

数量計算書

NO.1

測 点	延 長 (m)	床 掘			埋 戻						摘 要
		断 面 (m2)	平 均 (m)	面 積 (m2)	断 面 (m2)	平 均 (m)	立 積 (m3)	断 面	平 均	立 積	
		0.5			0.2						A工区
NO.0	13.0	0.5	0.5	6.5	0.2	0.2	2.6				"
NO.0+8.054	8.1	0.5	0.5	4.1	0.2	0.2	1.6				"
AIP-1	1.9										
A工区 小計				10.6			4.2				
		0.5			0.2						
NO.0	31.0	0.5	0.50	15.5	0.2	0.20	6.2				B工区
NO.1	20.00	0.5	0.50	10.0	0.2	0.20	4.0				"
NO.2	20.00	0.5	0.50	10.0	0.2	0.20	4.0				"
NO.2	20.00	0.5	0.50	10.0	0.2	0.20	4.0				"
NO.3	20.00	0.5	0.50	10.0	0.2	0.20	4.0				"
NO.4	20.00	0.5	0.50	10.0	0.2	0.20	4.0				"
	8.10	0.5	0.50	4.1	0.2	0.20	1.6				"
		0.8		-	0.5		-				"
NO.5	11.90	0.8	0.80	9.5	0.5	0.50	6.0				"
NO.6	20.00	0.9	0.85	17.0	0.6	0.55	11.0				"
NO.7	20.00	0.8	0.85	17.0	0.2	0.40	8.0				"
NO.8	20.00	0.8	0.80	16.0	0.5	0.35	7.0				"
NO.9	20.00	0.8	0.80	16.0	0.5	0.50	10.0				"
NO.9+13.0	13.00	0.6	0.70	9.1	0.5	0.50	6.5				"
B工区 小計				154.2			76.30				
A+B 合計				164.8			80.5				

第 表

数量計算書

NO.1

測 点	延 長 (m)	舗装版破碎(t=4cm)			コンクリート取壊し(鉄筋)			舗装版切断			摘 要
		巾 (m)	平 均 (m)	面 積 (m2)	断 面 (m2)	平 均 (m)	立 積 (m3)			長 さ (m)	
		0.8			0.04					0.8	A工区
No.0	13.0	0.8	0.8	10.4	0.04	0.04	0.52			13.0	
	4.9	0.8	0.8	3.9	0.04	0.04	0.20			4.9	
No. 0+8. 054	3.1	0.8	0.8	2.5	0.04	0.04	0.12			3.1	
										0.8	
小計				16.8			0.84			22.6	
		0.30			0.07					0.30	B工区
NO.0	31.00	0.30	0.30	9.3	0.07	0.07	2.2			31.00	
NO.1	20.00	0.50	0.40	8.0	0.07	0.07	1.4			20.00	
NO.2	20.00	0.45	0.48	9.6	0.07	0.07	1.4			20.00	
NO.3	20.00	0.45	0.45	9.0	0.07	0.07	1.4			20.00	
NO.4	20.00	0.45	0.45	9.0	0.07	0.07	1.4			20.00	
NO.5	20.00	0.45	0.45	9.0	0.07	0.07	1.4			20.00	
NO.6	20.00	0.45	0.45	9.0	0.07	0.07	1.4			20.00	
NO.7	20.00	0.45	0.45	9.0	0.07	0.07	1.4			20.00	
NO.8	20.00	0.45	0.45	9.0	0.07	0.07	1.4			20.00	
NO.9	20.00	0.45	0.45	9.0	0.07	0.07	1.4			20.00	
NO.9+13.0	13.00	0.45	0.45	5.9	0.07	0.07	0.9			13.00	
										0.45	
小計				95.8			15.70			224.80	
				m2							
				112.6							
				m3			m3				
		×	0.04=	4.50			16.54				
				t			t			m	
計	245.0	×	2.35/t=	10.6	×	2.50/t=	41.4			247.4	

第 表

数量計算書

NO.1

測 点	延 長 (m)	表層工 t=4cm			上層路盤工 t=7cm			下層路盤工 t=16cm			摘 要
		巾 (m)	平 均 (m)	面 積 (m2)	巾 (m)	平 均 (m)	面 積 (m2)	巾 (m)	平 均 (m)	面 積 (m2)	
		0.80			0.80			0.80			A工区
No.0	13.00	0.80	0.80	10.4	0.80	0.80	10.4	0.80	0.80	10.4	
	4.90	0.80	0.80	3.92	0.80	0.80	3.92	0.80	0.80	3.92	
No. 0+8. 054	3.10	0.80	0.80	2.48	0.80	0.80	2.48	0.80	0.80	2.48	
小計 (A工区)				16.8			16.8			16.8	
		0.50			0.50			0.50			B工区
NO.0	31.00	0.50	0.50	15.5	0.50	0.5	15.5	0.50	0.5	15.5	
NO.1	20.00	0.50	0.50	10.0	0.50	0.50	10.0	0.50	0.5	10.0	
NO.2	20.00	0.50	0.50	10.0	0.50	0.50	10.0	0.50	0.5	10.0	
NO.3	20.00	0.50	0.50	10.0	0.50	0.50	10.0	0.50	0.5	10.0	
NO.4	20.00	0.50	0.50	10.0	0.50	0.50	10.0	0.50	0.5	10.0	
NO.5	20.00	0.50	0.50	10.0	0.50	0.50	10.0	0.50	0.5	10.0	
NO.6	20.00	0.50	0.50	10.0	0.50	0.50	10.0	0.50	0.5	10.0	
NO.7	20.00	0.50	0.50	10.0	0.50	0.50	10.0	0.50	0.5	10.0	
NO.8	20.00	0.50	0.50	10.0	0.50	0.50	10.0	0.50	0.5	10.0	
NO.9	20.00	0.50	0.50	10.0	0.50	0.50	10.0	0.50	0.5	10.0	
NO.9+13.0	13.00	0.50	0.50	6.5	0.50	0.50	6.5	0.50	0.5	6.5	
小計(B工区)				112.0			112.0			112.0	
				m2			m2			m2	
合計(A+B工区)				128.8			128.8			128.8	

